

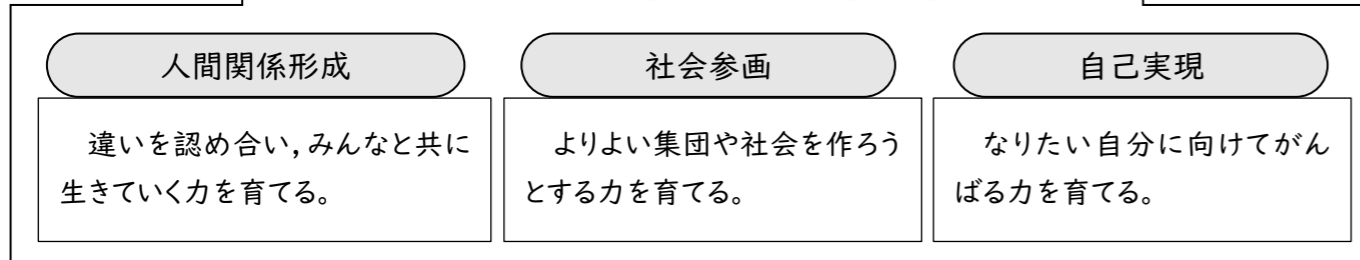
研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「1年生も楽しめるオリジナル祭りをしよう」 (1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点



2. 第3学年及び第4学年における評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合っ実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、何事にも一生懸命に取り組むことができている。学級の係活動等でも、笑顔で楽しめる4年1組にするために、自分たちで話し合っ係を決め、一人ひとりが自分のやりたい係に所属して、アイデアを出しながら活動している。しかし、児童同士が関わる中で、相手の気持ちを考えずに、自分中心の言動をしてしまう児童や自分の考えを表現することに消極的な児童もおり、友達との関わり方に課題がある児童もいる。そこで、ペアやグループ対話を授業の中でも取り入れながら、自分の考えを相手に伝える活動を行ってきた。そうすることで、少しずつではあるが、友だちに自分の考えを伝え、相手の意見を聞き入れることができるようになってきている。

学級活動については、4月にオリエンテーションを行い、学級目標の「笑顔で楽しめる4年1組」になるために、議題を考える時間をとり、やってみたいことや変えてみたいことなどを考えることができていた。計画委員は輪番制にし、それぞれが役割を持ち、児童から出てきた議題をもとに月に1回程度、学級会を行ってきた。4月からクラスに転入生があり、1学期は「みんなで仲を深めるためのレクをしよう」や「みんなで協力できる遊びをしよう」など、クラスみんなが楽しく過ごすためにできることを考え、実行してきた。初めは、「出し合う」から「比べ合う」のところで、自分のやりたいことを通そうとして、「まとめる」までいかないこともあったり、やることが決まっても納得できていなかったりすることもあり、話し合いがスムーズにできないことがあった。また、「出し合う」から「比べ合う」の流れで司会が話し合いを進めていても、「比べ合う」のところで、新たな意見が出てきて、再度「出し合う」になり、柱1での話し合いに時間がかかることが多々あった。しかし、回を重ねるごとに、提案理由に沿った内容を実施するためにはどうしたらいいのかを考えられるようになり、友だちの意見を受け止めながら、みんなで協働して取り組むことを実感してきている。また、国語科の学習で学んだ、「司会者」「提案者」「参加者」がそれぞれの役割を考えながら話し合う活動を通して、参加者が友だちの意見を聞き、それにつなげて発表する児童や分からないときには質問する児童の姿も見られるようになってきた。また、司会者はみんなから意見を出してもらえるように、全体になげかけたり、時間を意識しながらできるようになってきた。計画委員が事前に準備を行い、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話し合いの流れを意識して進めることには慣れてきて、少しずつ自分たちの力で進めようとする姿や心配なことや不安なことも安心して発表する姿が見られるようになってきた。

(2) 議題選定の理由

本議題は、社会科の学習の「地域で受け継がれてきたもの」で、お祭りについてふれることがあり、ここ数年コロナ禍で地元のお祭りもできていない状況だから、「秋祭りをしたい」「冬祭りをしたい」「文化祭をしたい」「おもちまつりをしたい」という児童の思いから「オリジナル祭り」として選定された。また、自分たちだけでなく、誰かを楽しませたいという相手意識もでてきたことから、今回1年生を招待して一緒にお祭りをする事になった。

学級会では、それぞれ「どんなお店にするか」、「自分たちも1年生も楽しむための工夫」という点について、自分の意見を友だちに伝え、合意形成する際には、相手の意見に寄り添い、お互いを認め合うことを大切にしながら話し合いを進められるようにしたい。

4. 指導と評価の計画

事前の活動

本時の展開

事後の活動

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月17日 (木) ①昼休み ②帰りの会	①議題の決定計 ・やりたいことリストや議題カードをもとに話し合う議題を決める。 ②議題の周知計 ・提案理由を明らかにして、学級全員に伝え、学級会コーナーに掲示する。
11月18日 (金) ③昼休み ④帰りの会	③役割分担計 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ④案募集学 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。
11月21日 (月) ⑤昼休み	⑤案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。
11月22日(火) ⑥昼休み	⑥学級会のシュミレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎オリジナル祭りをするための見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。 <p style="text-align: right;">(主体的態度) 【学級会ノート・観察】</p>
◎「1年生も楽しめるオリジナル祭りをしよう」の目的に合った意見を考え、判断し学級会ノートに書いている。 <p style="text-align: right;">(知識・技能) 【学級会ノート・観察】</p>

本時のねらい		
1年生も楽しめるオリジナル祭りになるためのお店と工夫を考えることができる。		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	<p style="text-align: center;">1年生も楽しめるオリジナル祭りをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案者の思いや願いが伝わるよう、事前に背面黒板に記入して学級全体で周知しておく。 『笑顔で楽しめるお祭りにするために一人ひとりが意見を出し合って考えよう。』 ・決まっていることを確認する。 ★グループ(4人以上)です★1時間 ★体育館 ○前時までの取り組みの良かったところと期待を伝え、本時の意欲を高める。 ・「比べ合う」から進められるように、事前に出てきた催し物を短冊に書いておく。 ○司会が進行に困ったときや話がずれたり意見が止まったりした時には、前の人の意見をつないで話し合いができるようにする。 ○必要に応じて、提案理由に沿ったものかどうか、考えられるよう助言する。 ○自分自身や友だちの成長したところや次に繋がる課題等について書いてある振り返りを紹介する。 ○自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いて考えたりしていた児童を称賛する。 ・実践への意欲が高まるように言葉掛けを行う。 	◎みんなで楽しむお祭りをするために何ができるか、どんな工夫したらよいか理由も述べながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現) 【観察・発言】</p>
4 提案理由の確認		
5 めあての確認		
6 決まっていることの確認		
7 先生の話		
8 話し合い 話し合うこと① 「どんなお店にするか」 話し合うこと② 「お店が楽しくなる工夫」		
9 決まったことの発表		
10 振り返り		
11 先生の話		
12 おわりの言葉		

5. 板書計画

ふりかえり	まとめる	出し合う	話し合うこと②	話し合うこと①	くらべあう	しゃてき	金魚すくい	くじびき	まとめる	話し合うこと②	話し合うこと①	決まっていること	グループ(4人以上)	1時間	体育館	議題理由	議題	めあて	
・待ち時間を短くできるようにたくさん準備する。	・かんばんを作る。呼び込みをする。	・話し合うこと②のお店が楽しくなる工夫	・話し合うこと①「どんなお店にするか」	・話し合うこと①「どんなお店にするか」	・しゃてき	・輪投げ	・ビンゴ	・おみくじ	・話し合うこと②	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①	・話し合うこと①

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月28日 (月) ①朝の会	①決まったことを知らせる計 ・学級会で決めた要点をまとめて伝えられるよう助言する。
11月28日(月) ↓ 12月14日(水) ②休み時間	②祭りに向けての準備学 ・考えた役割を共有し、役割に分かれ準備を行う。
12月15日 (木) ③学級活動	③活動の実施学 ・ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫したりして活動している児童を称賛する。
12月15日 (木) ④帰りの会	④振り返り学 ・めあてに基づいた振り返りを行う。 ・自分の役割や友だちの良さについても振り返り、自他の頑張りを認められるよう助言する。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】
◎「1年生も楽しめるオリジナル祭りをしよう」を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。 <p style="text-align: right;">(主体的態度) 【行動観察】</p>
◎活動のめあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。 <p style="text-align: right;">(思考・判断・表現) 【行動観察・振り返りカード】</p>